

J.S.バッハ：マタイ受難曲 BWV 2 4 4 合唱曲 逐語訳（発音記号付き）

Zweiter Teil 30. — 68. 第2部 第30曲 — 第68曲

（注）発音記号は標準的なものを使用したが一部独自のものもある（二重子音 mm、ll など）。
母音の後の ‘ はアクセントが付くこと、母音の後の : は長母音を表す。

30. *Aria (Alto)* Chorus II 第20曲 アリア (アルト) 合唱 II
(*Aria Alto*)

Ach, nun ist mein Jesus hin!

ああ 今や (be) 私の イエスは 向こうへ

(Chorus II)

Wo^① ist^② denn^③ dein^④ Freund^⑤ hingegangen^⑥,

vo : i st de nn da in fro ynt hi ngəga nən
どこへ 一体 お前の 友達は 行ってしまったのか

①疑問詞 (=where) ②助動詞 sein(=be)の三人称単数現在 (自動詞の過去分詞とともに現在完了形を作る)

③副詞 ④所有代名詞二人称親称男性単数1格 ⑤男性名詞単数1格 ⑥分離自動詞 hin-gehen の過去分詞

o^① du^② Schönste^③, unter^④ den^⑤ Weibern^⑥ ?

o : du : ſ φ : nstə u ntər de n va ibərn
おお お前 最も美しい人よ 中で 女性達の

①間投詞 ②人称代名詞二人称親称単数1格 (呼び掛け) ③形容詞 schön の最高級の名詞化形 (女性単

数1格 呼び掛け) ④3格支配の前置詞 ⑤定冠詞複数3格 ⑥中性名詞 Weib の複数3格

(*Aria Alto*)

Ist es möglich, kann ich schauen?

それは可能であろうか できるか 私は 眺める・確かめる

(Chorus II)

Wo hat^① sich^② dein Freund hingewandt^③ ?

vo : ha t zi ç da in fro ynt hi ngəva nt
どこへ のか 自らを あなたの 友達は 向けてしまった

①助動詞 haben(=have)の三人称単数現在 (他動詞の過去分詞とともに現在完了形を作る) ②③再帰分離

動詞 sich hin-wenden 「(人や物の方へ) 向く、注意を向ける」の過去分詞

(Aria Alto)

Ach, mein Lamm in Tigerklauen,

ああ 私の 子羊は 中に 虎の 爪の

ach, wo ist mein Jesus hin!

ああ どこへ 私の イエスは あちらへ・向こうへ

(Chorus II)

So^① wollen^② wir^③ mit^④ dir^⑤ ihn^⑥ suchen^⑦.

zo : vɔ llən vi :r mi t di :r i :n zu :xən

だから したい 私達は 一緒に あなたと 彼を 探しに行く

①副詞（前文の結果を表す） ②助動詞の複数現在 ③人称代名詞一人称複数1格 ④3格支配の前置詞

⑤人称代名詞二人称親称単数3格 ⑥人称代名詞三人称男性単数4格（イエスを指す） ⑦他動詞不定形

(Aria Alto)

Ach! Was soll ich der Seele sagen,

ああ 何を べきか 私は 心・魂に 言う

wenn sie mich wird ängstlich fragen?

ときに 魂が 私に 不安げに 尋ねる

Ach! Wo ist mein Jesus hin?

ああ どこへ 私の イエスは あちらへ・向こうへ

(概訳)

ああ 私のイエスは行ってしまった

どこへあなたの友達（イエス）は行ってしまったの

おお 女達の中でも一番美しいあなた

そんなことができますか 私が確かめるようなことが

どこへあなたの友達は向かったの

ああ 虎の爪の中の私の子羊よ

ああ どこへ私のイエスは行ってしまったの

それなら私達はあなたと一緒に彼を探しに行きましょう

ああ 何と私は魂に向かって言ったらいいのでしょうか

魂が私に不安げにこう尋ねたときに

ああ どこへ私のイエスは行ってしまったのと

(注) 合唱の歌詞は下記の旧約聖書雅歌第6章第1節から採られている（新共同訳）

「あなたの恋人はどこに行ってしまったの。だれにもまして美しいおとめよ。あなたの恋人はどこに行ってしまったの。一緒に探してあげましょう。」

Nr.32 Choral 第32曲 コラール

Mir^① hat^② die^③ Welt^④ trüglich^⑤ gericht^⑥

mi':r ha't di': ve'lt try':kliç gəri'çt

私に した この 世界は あざむいて 用意(した)

①人称代名詞一人称単数3格 ②助動詞 haben の単数現在(現在完了形) ③定冠詞女性単数1格 ④女性名詞単数1格 ⑤形容詞(副詞的用法) ⑥他動詞 richten の過去分詞 gerichtet の短縮形(目的語は後出の Netz と Stricke)

(注) ドイツ語の楽譜では一音符(スラーや連符でつなげたものを含む)一母音(二重母音を含む)の原則があるので e や et 等が省略される短縮形が使用されることが多い。以下の Gdicht, Gfahr, bhüt 参照

mit^① Lügen^② und mit falschem^③ Gdicht^④,

mi't ly':gən u'nt mi't fa'lʃəm gdi'çt

もって 嘘で (and) もって 偽りの 詩(作り事)で

①3格支配の前置詞 ②女性名詞 Lüge の複数3格 ③形容詞中性単数3格(無冠詞強変化) ④中性名詞 Gedicht の3格短縮形

viel^① Netz^② und heimlich^③ Strikke^④.

fi':l ne'ts u'nt ha'imliç ʃtri'kkə

多数の 網 (and) ひそかな 縄を

①形容詞(不変化) ②中性名詞複数4格 Netzeの短縮形 ③形容詞(不変化) ④男性名詞 Strick の複数4格 Stricke(語尾の ck は楽譜上で2つの音符にまたがるときは kk と表記される)

Herr^①, nimm^② mein^③ wahr^④ in^⑤ dieser^⑥ Gfahr^⑦,

hɛ'rr ni'mm ma'in va':r i'n di':zər gfa':r

主よ (して)くれ 私に 気づいて 中で この 危険の

①男性名詞単数1格(呼び掛け) ②④分離他動詞 wahr-nehmen の二人称単数(Herr)に対する命令形 ③所有代名詞の名詞的用法4格(不変化) ④3格支配の前置詞 ⑤指示代名詞女性単数3格 ⑥女性名詞 Gefahr の3格短縮形

bhüt^① mich^② für^③ falschen^④ Tücken^⑤ !

bhy':t mi'ç fy':r fa'lʃən ty'kkən

守ってくれ 私を に対して 不正の たくらみ

①他動詞 behüten 二人称単数(Herr)に対する命令形 behüt の短縮形 ②人称代名詞一人称単数4格 ③4格支配の前置詞 ④形容詞弱変化複数4格(文法的には falsche) ⑤女性名詞 Tücke の複数4格 Tücken

(概訳)

Mir hat die Welt trüglich gericht'
Mit Lügen und mit falschem Gdicht,

この世は欺瞞により私に仕掛けた
嘘と偽りの言葉を用いて

Viel Netz und heimlich Stricke. 沢山の網とひそかな罟を
 Herr, nimm mein wahr in dieser Gfahr, 主よ この危機の中で私に気付き
 Bhüt mich für falschen Tücken! 悪い企みから私を守ってください
 (A. ロイスナー詩篇第31編によるコラール “In dich hab ich gehoffet, Herr” (1533) 第5節)

Nr.36a

(Evangelista 福音史家)

Sie antworteten und sprachen:

彼らは 答えた そして 言った

Nr. 36 b Chori 第36曲b 合唱 I, II

Er^① ist^② des^③ Todes^④ schuldig^⑤ !

eːr iːst dɛs toːdɔs ʃʊldɪç

彼は する 死の 罪に値する

①人称代名詞三人称単数1格 ②自動詞 sein (=be)の三人称単数現在 ③定冠詞男性単数2格 ④男性名詞 Tod の2格 ⑤形容詞 (無変化・des Todes との組み合わせで「死罪に値する」)

Nr. 36c

(Evangelista 福音史家)

Da speieten sie aus in sein Angesicht und schlugen ihn mit

そこで 唾を吐いた 彼らは 彼の顔に向かって そして 打った 彼を

Fäusten. Etliche aber schlugen ihn ins Angesicht und sprachen:

こぶしで 幾人かは なぐった 彼の 顔を そして 言った

Nr. 36 d Due chori 第36曲d 合唱 I,II

Weissage^①, weissage uns^②, Christe^③,

vaːisza:gə vaːisza:gə ʊns kriːstə

あててみる 言ってみろ 私達に キリストよ

①他動詞 weissagen (予言する)の二人称単数命令形 ②人称代名詞一人称複数 wir の3格 ③Christus の呼格

wer^① ists^②, der^③ dich^④ schlug^⑤ ?

veːr iːsts deːr diːç ʃluːk

誰 なのか (者は) お前を 打った

①疑問代名詞1格 ②自動詞 sein (=be)の三人称単数現在 ist と es(=it)の複合短縮形 (es は der 以下を受ける) ③関係代名詞男性単数1格 ④人称代名詞二人称親称単数4格 ⑤他動詞 schlagen の単数過去

(参考：マタイによる福音書第26章第66—68節 新共同訳)

人々は「死刑にすべきだ」と答えた。そして、イエスの顔に唾を吐きかけ、こぶしで殴り、ある者は平手で打ちながら、「メシア、お前を殴ったのはだれか、言い当ててみる」と言った。

Nr.37 Choral 第37曲 コラール

Wer^① hat^② dich^③ so^④ geschlagen^⑤,

ve':r ha't di'ç zo': gəʃla':gən

誰が のか あなたを それ程 打った

①疑問代名詞1格 ②助動詞 haben の三人称単数現在 ③人称代名詞二人称親称4格 ④副詞

⑤他動詞 schlagen の過去分詞 (現在完了形)

mein^① Heil^②, und dich mit^③ Plagen^④,

ma'in ha'il u'nt di'ç mi't pla':gən

私の 救い (主) よ (and) あなたを もって 苦しみを

①所有代名詞男性1格 ②男性名詞1格 (呼格) Heil は一般に「救済・救い」の意味だがここではイエスその人を指す ③3格支配の前置詞 ④女性名詞 Plage の複数3格

so übel^① zugericht^② ?

zo': y':bəl tsu'gəriçt

(so) ひどく 痛みつけた

①形容詞の副詞的用法 ②他動詞 (分離動詞 zu-richten) の過去分詞 zugerichtet の短縮形

Du^① bist^② ja^③ nicht ein^④ Sünder^⑤

du': bi'st ja': ni'çt ai'n zy'ndər

あなたは である 確かに (not) 一人の 罪人

①人称代名詞二人称親称単数1格 ②自動詞 sein (=be) の二人称親称単数現在 ③副詞 (=yes) ④不定冠詞男性1格 ⑤男性名詞単数1格 (女性名詞 Sünde (罪) の派生語)

wie^① wir^② und unsre^③ Kinder^④;

vi': vi':r u'nt u'nzrə ki'ndər

ように 私達 (and) 私達の 子供の

①従属接続詞 ②人称代名詞一人称複数 ③所有代名詞一人称複数1格 unser の短縮形 ④中性名詞 Kind の複数1格

von^① Missetaten^② weißt^③ du nicht.

fɔ'n mi:ssəta:tən va'ist du': ni'çt

について 悪いこと 知る あなたは (知らない)

①3格支配の前置詞 ②女性名詞 Missetat の複数3格 ③自動詞 wissen の二人称単数現在

(概訳)

Wer hat dich so geschlagen, Mein Heil, und dich mit Plagen So übel zugericht' ? Du bist ja nicht ein Sünder Wie wir und unsre Kinder; Von Missetaten weißt du nicht.	誰が一体あなたを殴ったのですか 我が主よ あなたに苦痛を与えて そんなにもひどく痛めつけるとは あなたは確かに罪人ではないのです わたし達や私達の子供達とは違って 悪いことをあなたは知らないのです
---	---

(P. ゲアハルト作コラール (1647) 第3節: 第10曲 (第5節) と同一コラール。ヨハネ受難曲の
第11曲のコラール (第1節) と旋律は若干異なるが同一歌詞。脚韻 a, a, b, c, c, b)

Nr. 38a

(Evangelista 福音史家)

Und über eine kleine Weile traten hinzu, so und so die da stunden, und sprachen zu Petro: そこに立っていた人々が	しばらくしてから 歩み寄った そして 言った ペトロに向かって
--	--

Nr. 38 b Chorus II 第38曲b 合唱 II

Wahrlich^①, du^② bist^③ auch^④ einer^⑤ von^⑥ denen^⑦;

va' :rliç	du' :	bi' st	a' ux	a' inər	fɔ' n	de' :nən
本当に	お前は	である	確かに	一人	中の	彼等の

①副詞 ②人称代名詞二人称親称単数1格 ③自動詞 sein (=be)の二人称単数現在 ④副詞 ⑤不定代名詞
(名詞的用法) 男性単数1格 ⑥3格支配の前置詞 ⑦指示代名詞 (名詞的用法) 複数3格

denn^① deine^② Sprache^③ verrät^④ dich^⑤.

dɛ' nn	da' inə	ʃpra' :xə	fɛrrɛ' :t	di' ç
何故なら	お前の	言葉 (話し方) は	露呈する	お前(の正体) を

①接続詞 ②所有代名詞二人称親称女性単数1格 ③女性名詞単数1格 ④他動詞 verraten の単数現在
⑤人称代名詞二人称親称単数4格

(参考: マタイによる福音書第26章第73節 新共同訳)

しばらくして、そこにいた人々が近寄って来てペトロに言った。「確かに、お前もあの連中の仲間だ。言葉
遣いでそれが分かる。」

Nr. 40 Choral 第40曲 コラール

Bin^① **ich**^② **gleich**^③ **von**^④ **dir**^⑤ **gewichen**^⑥,

bi' n i' ç gla' iç fo' n di' :r gəvi' çən
私が たとえ から あなた 立ち去った

①助動詞 sein (=be)の一人称単数現在。従属接続詞の wenn が省略されている (倒置法) ②人称代名詞一人称単数1格 ③副詞 ④3格支配の前置詞 ⑤人称代名詞二人称親称単数3格 ⑥自動詞 weichen の過去分詞で冒頭の助動詞 bin とともに現在完了形を作る

stell^① **ich** **mich**^② **doch**^③ **wieder**^④ **ein**^⑤;

ʃtɛ' ll i' ç mi' ç do' x vi' :dər a' in
現す 私は 私を けれども 再び 姿を

①⑤分離再帰動詞 sich ein-stellen 「姿を現す」の一人称単数現在 stelle の短縮形。②人称代名詞一人称単数4格 ③副詞 ④副詞

hat^① **uns**^② **doch**^③ **dein**^④ **Sohn**^⑤ **verglichen**^⑥

ha' t u' ns do' x da' in zo' :n fɛrɡli' çən
私達を なにしろ あなたの 息子は 和解させた

①助動詞 haben (=have)の三人称単数現在 ②人称代名詞一人称複数4格 ③副詞：先行文に対する理由づけ・動詞倒置「だって・・・なんだから」 ④所有代名詞二人称親称単数1格 ⑤男性名詞単数1格 ⑥他動詞 vergleichen (通常は「比較する」の意)の過去分詞で先の助動詞 hat とともに現在完了形を作る。この場合の vergleichen は「償う=vergüten」と訳されることが多いがルター訳聖書で用いられている versöhnen と同じく「神と人間との和解を図る」の意味か (BCJ 鈴木雅明の対訳参照)

durch^① **sein**^② **Angst**^③ **und** **Todespein**^④.

dʊ' rç za' in a' ŋst u' nt to' :dəspa' in
によって 彼の 不安 (and) 死の苦痛

①4格支配の前置詞 ②所有代名詞三人称女性単数4格の seine の短縮形で Angst と Todespein の両方に掛る ③女性名詞4格 ④女性名詞4格 (Tod と Pein の合成語) Angst と対語になって単数として扱われる

Ich **verleugne**^① **nicht** **die**^② **Schuld**^③;

i' ç fɛrlɔ' ygnə ni' çt di' : ʃu' lt
私は 否定する (not) 罪を

①他動詞一人称単数現在 ②定冠詞女性単数4格 ③女性名詞単数4格。通常は「責任、債務」を意味するが、キリスト教用語独和小辞典 (同学社) によれば「罪 (神の掟に意識的に違反する言葉・行為・怠惰)」を意味する。類語 Sünde 「罪 (思い・言葉・行い・怠りによって神および神の掟に意識的に反すること) Erbsünde 原罪・Todssünde 大罪」とは若干ニュアンスが異なり、Sünde の方が人間のそもそも持っている原罪の意味を含有すると思われる。

aber deine^① Gnad^② und Huld^③

a' : bər da' inə gna' : t u' nt hu' lt
(but) あなたの 恵み (and) 慈愛は

①所有代名詞女性単数1格でGnadとHuldの両方に掛る ②女性名詞単数1格Gnadeの短縮形 ③女性名詞(雅語)単数1格でGnadと対語になって1つの単数として扱われる

ist^① viel^② größer^③ als^④ die^⑤ Sünde^⑥,

i' st fi' : l grø' : sər a' ls di' : zy' ndə
ある はるかに 大きい よりも 罪

①自動詞sein (=be)の三人称単数現在 (GnadとHuldの両方を受ける) ②副詞 ③形容詞großの比較級 ④比較を示す接続詞 ⑤定冠詞女性単数1格 ⑥女性名詞単数1格(前頁Schuldの項参照)

die^① ich stets^② in^③ mir^④ befinde^⑤.

di' : i' ç ſ te' : ts i' n mi' : r bæfi' ndə
(罪) 私が いつも 中に 私の 見出す

①関係代名詞女性単数4格(Sündeを受ける) ②副詞 ③3格支配の前置詞 ④人称代名詞一人称単数3格 ⑤非分離他動詞一人称単数現在

(概訳)

Bin ich gleich von dir gewichen,	私がたとえあなたから離れたとしても
Stell ich mich doch wieder ein;	私はかならず再び姿を現します
Hat uns doch dein Sohn verglichen	御子が私達を和解させて下さったから
Durch sein Angst und Todespein.	彼の不安と死の苦しみを通して
Ich verleugne nicht die Schuld;	私は犯した罪を否定はしません
Aber deine Gnad und Huld	しかしあなたの恩恵と慈しみは
Ist viel größer als die Sünde,	私の罪よりはるかに大きいのです
Die ich stets in mir befinde.	私が常に自分の中に見出す罪より

(J. リスト作コラール第5節(1642)脚韻 a, b, a, b, c, c, d, d)

Nr. 41a [Rezitativo] Evangelista レチタティーヴォ (福音史家)

Sie sprachen:

彼らは 言った

Nr. 41 b Chori 第41曲b 合唱 I, II

Was^① gehet^② uns^③ das^④ an^⑤? Da^⑥ siehe^⑦ du^⑧ zu^⑨!

va' s ge' : ət u' ns da' s a' n da' : zi' : ə du' : tsu' :
どんな あるのか 私達に それは 関係が そうなら しなさい 自分で 始末を

①疑問詞 ②⑤分離他動詞 an-gehen の三人称単数現在「ある人に関係がある」通常は geht だが口調上 e を付けている ③人称代名詞一人称複数 4 格 ④指示代名詞 ⑥副詞 ⑦⑨分離自動詞 zu-sehen の二人称単数現在接続法 I (命令) ⑧人称代名詞二人称親称単数 1 格

(参考: マタイによる福音書第 27 章第 3 節 新共同訳)

そのころ、イエスを裏切ったユダは、イエスに有罪の判決が下ったのを知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちに返そうとして、「わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」と言った。しかし彼らは、「我々の知ったことではない。お前の問題だ」と言った。

Nr. 44 Choral 第 4 4 曲 コラール

Befiehl^① **du**^② **deine**^③ **Wege**^④

bəfiːl duː daːnə veːgə
 委ねさい お前は お前の 道々を

①他動詞 befehlen (雅語「人 (3 格:ここでは下記の Pflege) に物 (4 格:次の Wege) を委ねる」)の命令形 ②人称代名詞二人称親称単数 1 格 (命令形なので本来は不要) ③所有代名詞二人称親称複数 4 格
 ④男性名詞複数 4 格

und was^① **dein**^② **Herze**^③ **kränkt**^④

ʊnt vas daːn hɛːrtsə krɛŋkt
 (and) ものを お前の 心を 傷つける

①関係代名詞 (befehlen の目的語の文を作る) ②所有代名詞二人称親称単数 4 格 ③中性名詞単数 4 格 Herz (口調上 e を付けた) ④他動詞単数現在

der^① **allertreusten**^② **Pflege**^③

deːr aːllɛːtrɔːstən pfleːgə
 に 最も誠実な 世話

①定冠詞女性単数 3 格 ②形容詞 (複合語 all + treu) の最高級単数 3 格弱変化 ③女性名詞単数 3 格

des^①, **der**^② **den**^③ **Himmel**^④ **lenkt**^⑤.

dɛs deːr deːn hiːmməl lɛŋkt
 (者の) 天を つかさどる

①指示代名詞 (次の der 以下の副文を受ける) ②関係代名詞男性単数 1 格 ③定冠詞男性単数 4 格 ④男性名詞単数 4 格 ⑤他動詞三人称単数現在

Der^① **Wolken**^②, **Luft**^③ **und** **Winden**^④

deːr voːlkən luːft ʊnt viːndən
 (者は) 雲 空気 (and) 風に

①関係代名詞男性単数 1 格 ②女性名詞複数 3 格 ③女性名詞単数 3 格 ④男性名詞複数 3 格

gibt^① Wege^②, Lauf^③ und Bahn^④,

gi' :pt ve' :gə la' of u' nt ba' :n
与える 道 運行 (and) 軌道を

①他動詞 geben(=give)の三人称単数現在 (本来は Der (den) Wolken... (die) Wege... gibt の文型を取る) ②男性名詞複数4格 ③男性名詞単数4格 ④女性名詞単数4格

der^① wird^② auch^③ Wege finden^④,

de' r vi' rt a' uf ve' :gə fi' ndən
(者は) であろう きっと (ところの) 道を見つめる

①指示代名詞 (前の der 以下の副文を受ける) ②助動詞 werden の単数現在 (推量を示す) ③副詞 ④他動詞不定形

da^① dein^② Fuß^③ gehen^④ kann^⑤.

da' : da' in fu' :s ge' :ən ka' nn
(道を) お前の 足が 歩む (can)

①(場所を表す古語=wo) 関係副詞 (前の Wege に掛る) ②所有代名詞男性単数1格 ③男性名詞単数1格 ④自動詞不定形 ⑤助動詞 können(=can)の単数現在

(概訳)

Biefel du dein Wege,	お前は委ねなさい自分の道を
Und was dein Herze kränkt	お前の心を傷めつけるものを
Der allertreusten Pflege	もっとも誠実な方の手に
Des, der den Himmel lenkt.	天をつかさどる方の手に
Der Wolken, Luft und Winden	空の雲や大気や風などに
Gibt Wege, Lauf und Bahn	道と進路と軌道を与える方は
Der wird auch Wege finden,	道もきっと見つけてくださる
Da dein Fuß gehen kann.	お前が歩むことのできる道を

(P. ゲアハルト作 (1 6 5 3) の5曲ある受難コラール (1 5・1 7・4 4・5 4・6 2) の第3曲目。

歌詞は同じ作者の別の詩篇コラールから取られている。脚韻 a, b, a, b, c, d, c, d)

Nr. 45 a (Chori) 第45曲 a (合唱 I, II)

Barrabam^① !

ba' rrabam
バラバを

①イエスと共に十字架に掛けられた殺人者 Barrabas の4格。楽譜の Ba-ra-bam は Bar-ra-bam のミスプリ

Nr. 45 b (Nr. 50b) Due chori 第45曲b(第50b) 合唱 I, II

Laß^① ihn^② kreuzigen^③ !

la' ss i' :n kro' ytsigən
 させよ 彼を 十字架につける

①助動詞 lassen(=let) (ピラトへの) 命令形 ②人称代名詞三人称男性単数4格 (イエスを指す) ③他動詞不定形

(参考: マタイによる福音書第27章第20-22節)

しかし、祭司長たちや長老たちは、バラバを釈放して、イエスを死刑に処してもらうように群衆を説得した。そこで、総督(ピラト)が、「二人のうち、どちらを釈放してほしいのか」と言うと、人々は、「**バラバ**を」と言った。ピラトが、「では、メシアといわれているイエスの方は、どうしたらよいか」と言うと、皆は、「**十字架につける**」と言った。

Nr. 46 Choral 第46曲 コラール

Wie^① wunderbarlich^② ist^③ doch^④ diese^⑤ Strafe^⑥!

vi' : vu' ndərba:rliç i' st do' x di' :zə ∫ tra' :fə
 なんと 不可思議なもの である けれど この 罰は

①副詞(=how) ②副詞(通常は wunderbar または wunderlich) ③自動詞(=be)三人称単数現在 ④副詞 ⑤指示代名詞女性単数1格 ⑥女性名詞単数1格

Der^① gute^② Hirte^③ leidet^④ für^⑤ die^⑥ Schafe^⑦,

de' r gu' :tə hi' rtə la' idət fy' :r di' : ∫ a' :fə
 良き 羊飼いが 苦しむ ために 羊達

①定冠詞男性単数1格 ②形容詞男性単数1格(=good) ③男性名詞単数1格 ④自動詞 leiden 三人称現在 ⑤4格支配の前置詞(=for) ⑥定冠詞女性複数4格 ⑦中性名詞複数4格

die^① Schuld^② bezahlt^③ der^④ Herre^⑤, der Gerechte^⑥,

di' : ∫ u' lt bətsa' :lt de' r hɛ' rrə de' r gərə' çtə
 負債を 払う 主人 正しき者が

①定冠詞女性単数4格 ②女性名詞4格(この場合は先のような「罪」の意ではなく「借金・負債」の意) ③他動詞単数現在 ④男性名詞 Herr の単数1格(口調上 e を付けたもの) ⑤形容詞 gerecht を名詞化した男性名詞単数1格 (der Herre と同格・言い直したもの)

für seine^① Knechte^②.

fy' :r za' inə knɛ' çtə
 ために 彼の 僕(しもべ)の

①所有代名詞三人称男性複数4格 ②男性名詞複数4格

(概訳)

Wie wunderbarlich ist doch diese Strafe! 何と不可思議なものか このような罰は
Der gute Hirte leidet für die Schafe, 善良な羊飼いが羊達のために苦しむとは
Die Schuld bezahlt der Herre, der Gerechte, 主人である正しい者が負債を支払うとは
Für seine Knechte. 自分の使用人のために

(J. ヘールマン第3曲と同じコラールの第4節、a,a,a,aの脚韻を踏む)

Nr. 50 d Chori 第50曲d 合唱 (I, II)

Sein^① Blut^② komme^③ über^④ uns^⑤ und unsre^⑥ Kinder^⑦.

za'in blu:t ko'mmə y':bər u'ns u'nt u'nzrə ki'ndər
彼の 血が 来るように 上に 私達 (and) 私達の 子供達の

①所有代名詞三人称中性単数1格 ②中性名詞単数1格 ③自動詞 kommen (=come) の三人称単数接続法 I (命令) ④4格支配の前置詞 ⑤人称代名詞一人称複数4格 ⑥所有代名詞一人称女性複数4格 unsere の短縮形 ⑦中性名詞 Kind 複数4格

(参考: マタイによる福音書第27章第23-25節)

ピラトは、「いったいどんな悪事を働いたというのか」と言ったが、群衆はますます激しく、「十字架につける」と叫び続けた。ピラトは、それ以上言っても無駄なばかりか、かえって騒動が起こりそうなを見て、水を持って来させ、群衆の前で手を洗って言った。「この人の血について、わたしには責任がない。お前たちの問題だ。」民はこぞって答えた。「その血の責任は、我々と子孫にある。」

(注) 通常はユダヤ人の開き直り、自らへの呪いの言葉と受け取られユダヤ人迫害の根拠ともされているが、「贖罪の血」「贖罪の祝福」と肯定的な意味に解釈する向きもある (BCJ 鈴木雅明対訳参照)。

Nr. 53 b Chori 第53曲b 合唱

Gegrüßet^① seist^② du^③, Jüdenkönig^④ !

gəgrý:sət za'ist du: jy':dɛnkø':niç
挨拶を受けよ (万歳! ようよう!) 汝 ユダヤの王よ

①他動詞 grüßen の過去分詞 (助動詞 sein とともに受動形を作る) ②助動詞 sein (=be) の二人称親称単数接続法 I (命令) ③代名詞二人称親称単数1格 ④男性名詞 (複合語 Jüde (雅語: 通常は Jude) + König)

(参考: マタイによる福音書第27章第28-29節)

そして、イエスの着ている物をはぎ取り、赤い外套を着せ、茨で冠を編んで頭に載せ、また、右手に葦の棒を持たせて、その前にひざまずき、「ユダヤ人の王、万歳」と言って、侮辱した。

Nr. 54 Choral 第54曲 コラール

O Haupt^① voll^② Blut^③ und Wunden^④,

o : ha' opt fɔ' ll blu' :t u' nt vɔ' ndən

おお 頭(かしら)よ いっぱい 血 (and) 傷

①中性名詞1格(呼び掛け) ②無冠詞目的語とともに使われる形容詞(不変化)で前の名詞に掛る「(血や傷)でいっぱい(の頭)」 ③中性名詞単数 ④女性名詞 Wunde の複数

voll Schmerz^① und voller^② Hohn^③,

fɔ' ll ʃ mɛ' rts u' nt fɔ' llər ho' :n

いっぱい 痛み (and) に満ちた 侮蔑

①男性名詞単数 ②vollと同じように無冠詞の名詞と使用される形容詞(不変化) ③男性名詞

o Haupt, zu^① Spott^② gebunden^③

o : ha' opt tsu' : ʃ pɔ' tt gɛbʊ' ndən

おお 頭よ ため 嘲笑の 結ばれて・縛られて

①3格支配の前置詞 ②男性名詞単数3格 ③他動詞 binden の過去分詞(受動形を作る)

mit^① einer^② Dornenkron^③,

mi' t a' inər dɔ' rnɛnkro' :n

でもって ひとつの 茨の冠

①3格支配の前置詞 ②不定冠詞女性3格 ③男性名詞 Dorn と女性名詞 Krone の複合語で女性名詞 Dornenkron_e の単数3格短縮形

o Haupt, sonst^① schön^② gezieret^③

o : ha' opt zɔ' nst ʃ ø' :n gɛtsi' :rɛt

おお 頭よ そうでなければ 美しく 飾っていた

①副詞 ②形容詞 ③他動詞 zieren の過去分詞

mit höchster^① Ehr^② und Zier^③,

mi' t hø' çstər e' :r u' nt tsi' :r

でもって 最高の 榮譽 (and) 装飾

①形容詞 hoch の最高級女性3格 ②女性名詞 Ehre 単数3格短縮形 ③女性名詞 Ziere_e 単数3格短縮形

jetzt^① aber^② hoch^③ schimpfieret^④,

jɛ' tst a' :bər ho' :x ʃ impfi' :rɛt

今は しかし ひどく ののしられて

①副詞 ②副詞 ③形容詞 ④他動詞 schimpfieren の過去分詞

gegrüßet^① **seist**^② **du**^③ **mir**^④ !

gægry' :ssæt za' ist du' : mi' :r
挨拶を受けよ お前は 私から

①他動詞 grüßen の過去分詞 ②助動詞 sein の受動形二人称親称単数の接続法 I (命令) ③人称代名詞二人称親称単数 1 格 ④人称代名詞一人称単数 3 格

Du edles^① **Angesichte**^②,

du' : e' :dləs a' ngəziçtə
お前 高貴な 顔 (かんばせ) よ

①形容詞 edel の中性単数 1 格短縮形 ②中性名詞単数 1 格 (口調上 e を付加) du と同格・呼び掛け

dafür^① **sonst** **schrickt**^② **und** **scheut**^③

dafy' :r zo' nst Ńri' kkt u' nt Ńo' it
に対して いつもなら 怖がる (and) 恐れる

①指示代名詞+前置詞 ②自動詞 schrecken の三人称単数現在 ③自動詞 scheuen の三人称単数現在

das^① **große**^② **Weltgewichte**^③,

da' s gro' :sə ve' ltgəvi' çtə
大きな 世界の重み (世の勢力) よ

①定冠詞中性単数 1 格 ②形容詞中性単数 1 格 ③女性名詞 Welt と中性名詞 Gewicht の複合語 (全体として中性名詞) 単数 1 格 (口調上 e を付加)

wie^① **bist**^② **du** **so** **bespeit**^③,

vi' : bi' st du' : zo' : bæ Ńpa' it
どうして いるのか お前は そんなに 唾を吐きかけられて

①疑問詞 (=how) ②助動詞 sein (=be) の二人称親称単数現在 ③他動詞 bespeien の過去分詞 (受動形)

wie **bist** **du** **so** **erbleichet**^① !

vi' : bi' st du' : zo' : ɛrbla' içət
どうして いるのか お前は そんなに 青ざめて

①他動詞 erbleichen (雅語) の過去分詞 (受動形)

Wer^① **hat**^② **dein**^③ **Augenlicht**^④,

ve' :r ha' t da' in a' ugənli' çt
誰が (した)のか あなたの 目の光を

①疑問詞 (=who) ②助動詞 haben (=have) の三人称単数現在 ③所有代名詞中性単数 4 格 ④中性名詞 Auge + 中性名詞 Licht の複合語 (全体として中性名詞) 単数 4 格

dem^① sonst kein^② Licht nicht gleichet^③,

de' m zɔ' nst ka' in li' çt ni' çt gla' içət
それには かつては どんな 光も (not) 似ている

①関係代名詞中性3格 ②否定冠詞中性単数1格 ③自動詞三人称単数現在(3格の名詞(ここでは dem)を取る)

so schändlich^① zugericht'^② ?

zo' : ʃɛ' ntliç tsu' gəriçt
かくも 恥辱にまみれた ものにしてしまった

①形容詞 ②他動詞 zurichten の過去分詞 zugerichtet (2行上の Wer hat dein・・・の hat とともに現在完了形を作る) の短縮形

(概訳)

O Haupt voll Blut und Wunden,
Voll Schmerz und voller Hohn;
O Haupt, zu Spott gebunden
Mit einer Dornenkrone,
O Haupt, sonst schön gezieret
Mit höchster Ehr und Zier,
Jetzt aber hoch schimpfiet,
Gegrüßet seist du mir!

おお御頭(みかしら) 血と傷にまみれ
散々に痛めつけられ 散々に侮辱され
おお御頭 嘲りのために
茨の冠を被せられている
おお御頭 いつもなら美しく飾られ
最高の名誉と装飾を受けていたのに
今はしかしひどく罵られている
私からの挨拶を受けてください

Du edles Angesichte,
Dafür sonst schrickt und scheut
Das große Weltgewichte,
Wie bist du so bespeit
Wie bist du so erbleichet!
Wer hat dein Augenlicht,
Dem sonst kein Licht nicht gleichet,
So schändlich zugericht' ?

お前 気高い顔(かんばせ)
お前をかつて恐れ避けていたのは
この世の多くの権威者達なのだ
何とお前はかくも唾を吐きかけられ
何とお前はかくも蒼ざめているのか
一体誰が お前の眼の光りを
どんな光りも及ばない光りを
かくもひどく貶(おとし)めたのか

(脚韻 a, b, a, b, c, d, c, d: e, f, e, f, g, i, g, i P. ゲアハルト作同名コラール(1656)の第1・2節。5曲ある受難コラールの第4番目の作品。第15曲(ホ長調)・第17曲(変ホ長調)・第44曲(ニ長調)・第54曲(ヘ長調)・第62曲(イ短調)とそれぞれ調性は異なるが、旋律は同じで原曲はH. ハスラーの世俗歌曲「わが心は千々に乱れ」(1601)である。)

Nr. 58b Chori 第58曲b 合唱

Der^① du^② den^③ Tempel^④ Gottes^⑤ zerbrichst^⑥ und

de' r du' : de' n te' mpel go' ttəs tsɛrbri' ʧst ʊ' nt
(者よ) お前 寺院を 神の 破壊する (and)

①関係代名詞男性1格 ②人称代名詞二人称親称1格・前の der と同格 ③定冠詞男性4格 ④男性名詞単数4格 ⑤男性名詞単数2格(無冠詞で前の名詞に掛る) ⑥非分離他動詞 zerbrechen の二人称単数現在

bauest^① ihn^② in^③ dreien^④ Tagen^⑤, hilf^⑥ dir^⑦ selber^⑧ !

ba' uəst i' :n i' n dra' iən ta' :gən hi' lf di' :r zɛ' lbər
建てる それを 内に 三 日 助けよ 自分を 自身で

①他動詞 bauen の二人称単数現在 ②人称代名詞三人称単数4格 ③3格支配の前置詞 ④形容詞複数3格 ⑤男性名詞複数3格 ⑥自動詞 helfen 命令形 ⑦人称代名詞二人称親称単数3格 ⑧指示代名詞不変化

Bist^① du Gottes Sohn^②, so^③ steig^④ herab^⑤ vom^⑥ Kreuz^⑦ !

bi' st du' : go' ttəs zo' :n zo' : ʃta' ik hɛ' rap fo' m krə' yts
なら お前が 神の 息子 降りて来い から 十字架

①自動詞 sein の二人称単数現在 (wenn を省いた倒置形) ②男性名詞単数1格 ③副詞 ④⑤分離自動詞 herab-steigen 命令形 ⑥3格支配の前置詞 von と定冠詞中性3格 dem の複合形 ⑦中性名詞単数3格

(参考: マタイによる福音書第27章第40節)

「神殿を打ち倒し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」

Nr. 58d Chori 第58曲d 合唱

Andern^① hat^② er^③ geholfen^④ und kann^⑤ ihm^⑥ selber nicht

a' ndərn ha' t e' r gəhɔ' lfən ʊ' nt ka' nn i' :m zɛ' lbər ni' ʧt
他人を (した) 彼は 助けた (and) できない 彼 自らを (not)

①形容詞の名詞的用法複数3格 ②助動詞 haben 三人称現在(現在完了形) ③人称代名詞三人称1格 ④自動詞 helfen 過去分詞 ⑤人称代名詞三人称3格

helfen. Ist^① er der^② König^③ Israel^④, so steige^⑤ er nun^⑥

hɛ' lfən i' st e' r de' r kɔ' niç i' srae:l zo' : ʃta' igə e' r nu' n
助ける 彼が 王 イスラエルの 降りてみよ 彼は さあ

①自動詞 sein 三人称単数現在: 副文章 wenn を省いた倒置形 ②定冠詞男性1格 ③男性名詞1格 ④地名2格 ⑤自動詞 steigen 三人称単数接続法I (命令) ⑥副詞

vom Kreuz, so wollen^① wir^② ihm glauben^③.

fɔ' m krə' yts zo': vɔ' llən vi':r i':m gla' ubən
から 十字架 そうしたら (し) よう 私達は 彼を 信じ(る)

①助動詞複数現在 ②人称代名詞一人称複数 ③3格支配の自動詞(不定形)

Er hat Gott^① vertrauet^②, der^③ erlöse^④ ihn nun, lüstets^⑤ ihn;

e' r ha' t go' tt fɛrtra' uət de' r ɛrlø' :zə i':n nu' n lʏ' stəts i':n
彼は(した) 神に 頼った (神が) 救え 彼を 今度は 欲するならば 彼が

①男性名詞(無冠詞) 4格 ②非分離他動詞 vertrauen 過去分詞 ③関係代名詞男性1格 ④非分離他動詞
erlösen 接続法 I (命令) ⑤他動詞 gelüsten の雅語。三人称現在 lüstet+es の短縮形(文章的には副文章 wenn
es ihn lüstet の wenn が省略されたもので4格の ihn が主語となっている)

denn^① er hat gesagt^②: Ich bin Gottes Sohn.

dɛ' nn e' r ha' t gəzə' :kt i' ç bi' n go' ttəs zo':n
何故なら 彼が 言ったから 私は である 神の 息子

①接続詞 ②自動詞 sagen の過去分詞(現在完了形)

(参考: マタイによる福音書第27章第41-43節)

「同じように、祭司長たちも律法学者や長老たちと一緒に、イエスを侮辱して言った。「他人は救ったのに、自分は救えない。イスラエルの王だ。今すぐ十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう。神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救ってもらえ。『わたしは神の子だ』と言っているのだから。」

Nr. 60 Aria(Alto, Chorus II) 第60曲 (アリアの一部 合唱 II)

(Aria Alto)

Sehet, Jesus hat die Hand, uns zu fassen, ausgespannt, kommt!

見よ イエスは 私達を抱く手を 広げている 来なさい

Wohin? vo' hin どこへ 疑問詞

(Aria Alto)

in Jesu Armen sucht Erlösung, nehmt Erbarmen, sucht!

イエスの腕の中へ 探せ 救いを 受けよ 慈悲を 探せ

Wo? vo' どこを 疑問詞

(Aria Alto)

in Jesu Armen. Lebet, sterbet, ruhet hier,

イエスの腕の中を 生きよ 死ね 休め ここに

ihr verlassnen Küchlein ihr, bleibet Wo? In Jesu Armen.

お前達見捨てられた雛たちよお前達 残れ どこに イエスの腕の中に

Nr.61 b Chorus I 第61曲b 合唱I

Der^① rufet^② dem^③ Elias^④ !

de' r ru' :fət de' m e' li:as

あの男は 呼んでいる エリヤを

①指示代名詞男性単数1格 ②自動詞 rufen の三人称単数現在。普通は4格を取る他動詞だがここでは自動詞で目的格は3格になっている。③定冠詞男性3格 ④イスラエルの預言者の名前

Nr. 61d Chor (II) 第61曲d 合唱(II)

Halt^① ! Laß^② sehen^③, ob^④ Elias komme^⑤ und ihm^⑥ helfe^⑦ ?

ha' t la' ss ze' :ən o' :p e' li:as ko' mmə u' nt i' :m he' lfə

待て (let) 見る かどうか エリヤが 来る (and) 彼を 助ける

①自動詞二人称単数現在命令形 ②助動詞 lassen の二人称単数命令形。③自動詞不定形 ④従属接続詞
⑤自動詞三人称単数現在接続法 I ⑥人称代名詞三人称単数3格 (イエスを指す) ⑦自動詞三人称単数現在接続法 I (目的語は3格)

(参考: マタイによる福音書第27章第45-50節)

さて、昼の12時に、全地は暗くなり、それが3時まで続いた。3時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。そこに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、「この人はエリヤを呼んでいる」と言う者もいた。そのうちの一人が、すぐに走り寄り、海綿を取って酸いぶどう酒を含ませ、葦の棒に付けて、イエスに飲ませようとした。ほかの人々は、「待て、エリヤが彼を救いに来るかどうか、見てみよう」と言った。しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。

Nr. 62 Choral 第62曲 コラール

Wenn^① ich^② einmal^③ soll^④ scheiden^⑤,

vɛ' nn i' ç a' inma:l zo' ll ʃa' idən

ときには 私が いつの日か ならない 別れる (この世を去る)

①従属接続詞(=when) ②人称代名詞一人称単数1格 ③副詞 ④助動詞(=should) ⑤自動詞不定形 (本来の文型は Wenn ich einmal scheiden soll と助動詞が最後に来る)

so^① scheide^② nicht^③ von^④ mir^⑤,

zo' : ʃa' idə ni' çt fo' n mi' :r

その時には 去る (not) から 私

①副詞(=so) ②自動詞 scheiden の命令形(イエスに対する) ③否定詞(=not) ④3格支配の前置詞 ⑤人称代名詞一人称単数3格

wenn ich den^① Tod^② soll leiden^③,
 vɛ'nn i'ç de'n to':t zɔ'll la'idən
 ときには 私が 死を ならない 患わう・苦しむ

①定冠詞男性単数4格 ②男性名詞4格 ③他動詞不定形

so tritt^① du^② denn^③ herfür^④ !
 zo': tri'tt du': dɛ'nn hɛrfy':r
 その時には 現れる あなたは きっと ここに

①④分離自動詞 herfür-treten の三人称単数現在 ②人称代名詞二人称親称1格 ③副詞 (2行目の文章が命令形であるのに対し、ここでは現在形を用いて願望・命令(してください)を表している)

Wenn mir am^① allerbängsten^②

vɛ'nn mi':r a'm a'llɛrbɛ'ŋstən
 とき 私の 最も不安(心細げ)に

①前置詞 an+中性単数3格の定冠詞 dem の短縮形 ②aller は形容詞(bang)の最上級 bängst につけて意味を強める接頭語で全体として形容詞3格

wird^③ um^④ das^⑤ Herze^⑥ sein^⑦,

vi'rt ʊ'm da's hɛ'rtsə za'in
 なる 心が である

③助動詞 werden の三人称単数現在 ④4格支配の前置詞 ⑤定冠詞中性4格 ⑥中性名詞 Herz の単数4格 (語尾の e は口調上つけたもの) ⑦自動詞の不定形(=be) um das Herz sein で「心が・・・である」の意

so reiβ^① mich^② aus^③ den Ängsten^④
 zo': ra'is mi'ç a'us de'n ɛ'ŋstən
 その時には 引き離してください 私を から 沢山の不安

①他動詞 reißen の命令形 ②人称代名詞一人称4格 ③3格支配の前置詞 ④女性名詞 Angst の複数3格

kraft^① deiner^② Angst^③ und Pein^④ !

kra'ft da'inɛr a'ŋst ʊ'nt pa'in
 の力で・お陰で あなたの 不安 (and) 苦痛の

①2格支配の前置詞 ②所有代名詞二人称単数2格 ③女性名詞単数2格 ④女性名詞単数2格

(概訳)

Wenn ich einmal soll scheiden, 私がいつかこの世を去らなければならないとき
 So scheide nicht von mir, そのときは どうか私から離れないでください
 Wenn ich den Tod soll leiden, 私が死の苦しみを味わなければならないとき
 So tritt du denn herfür そのときは あなたがこちらに来てください

Wenn mir am allerbängsten この上もない不安に私の
Wird um das Herze sein, 心がおそわれるとき
So reiß mich aus den Ängsten そのときは 私を不安から引き離してください
Kraft deiner Angst und Pein あなたの味わった不安と苦痛の力でもって
(脚韻 a, b, a, b, a, c, a, c P. ゲアハルト作コラール(1 6 5 6) 第9節で受難コラールの第5番目(最後)。イ短調・いわゆるフリギア旋法を使用している)

Nr. 63 b Due chori in unisono 第63曲b 合唱 I, I I

Wahrlich^①, dieser^② ist^③ Gottes^④ Sohn^⑤ gewesen^⑥.

va' :rliç di' :zər i' st gō' ttəs zo' :n gəve' :zən
本当に この人は (be) 神の 息子 だった

①副詞(雅語) ②指示代名詞三人称単数1格 ③自動詞 sein(=be)の三人称単数現在 ④男性名詞単数2格
⑤男性名詞単数1格 ⑥自動詞 sein の過去分詞(現在完了形)

(参考: マタイによる福音書第27章第54節)

百人隊長や一緒にイエスの見張りをしていた人たちは、地震やいろいろの出来事を見て、非常に恐れ、「**本当に、この人は神の子だった**」と言った。

Nr. 66 b Due chori 第66曲b 合唱 I, I I

Herr^①, wir^② haben^③ gedacht^④,

hɛ' rr vi' :r ha' :bən gəda' xt
あなた様 私達は 考えた・思い出した

①男性名詞1格(呼びかけ) 男性への敬称(=Mister) この場合は目上の人(ピラト)に対する呼びかけで神やイエスに対する呼びかけ「主よ」ではない②人称代名詞一人称複数1格 ③助動詞複数現在(他動詞の過去分詞とともに現在完了形を作る) ④他動詞 denken の過去分詞(目的語は次の daß 以下)

daß^① dieser^② Verführer^③ sprach^④, da^⑤ er^⑥ noch^⑦ lebete^⑧:

da' s di' :zər fɛr' fy' :rər ʃ' pra' :x da' : e' :r no' x le' :bətə
(that) この 誘惑者が 話した ときに 彼が まだ 生きていた

①関係代名詞 ②指示代名詞男性単数1格 ③男性名詞単数1格 ④自動詞 sprechen(=speak)の三人称単数過去 ⑤従属接続詞(古語:時間的使用) ⑥人称代名詞三人称単数1格 ⑦副詞 ⑧自動詞三人称単数過去

Ich^① will^② nach^③ dreien^④ Tagen^⑤ wieder^⑥ auferstehen^⑦.

i' ç vi' l na' :x dra' iən ta' :gən vi' :dər a' ufer' ʃ' te' :ən
私は したい 後に 三 日 再び よみがえる

①人称代名詞一人称単数 ②助動詞 wollen の三人称単数現在 ③3格支配の前置詞 ④数詞複数3格 ⑤男

性名詞複数 3 格 ⑥副詞 ⑦自動詞 (分離 auf-erstehen) 不定形

Darum^① befehl^②, daß man^③ das^④ Grab^⑤ verwahre^⑥

daru'm bəfi:l da's ma'n da's gra:p fɛrva:rə

そのため 命じてください (that) 人が その 墓を 保管する

①副詞 ②他動詞 befehlen の三人称単数命令形 (次の daß 以下がその内容) ③代名詞 (不特定の人を表す)

④定冠詞中性 4 格 ⑤中性名詞単数 4 格 ⑥他動詞 (非分離) 三人称単数 (接続法 I 現在)

bis^① an^② den^③ dritten^④ Tag^⑤,

bi's a'n de'n dri:ttən ta:k

まで 第 3 の 日 (3 日目)

① 4 格支配の前置詞で次の② 4 格支配の前置詞 とともに bis an = 「まで」 ③定冠詞男性 4 格 ④形容詞としての序数単数 4 格 ⑤男性名詞単数 4 格

auf^① daß^② nicht seine^③ Jünger^④ kommen^⑤

a'uf da's niçt za'inə jy'ŋər kɔ'mmən

するように (not) 彼の 弟子が 来る

①前置詞+ ②従属接続詞 ③所有代名詞三人称複数 1 格 ④男性名詞複数 1 格 ⑤自動詞 (接続法 I 現在)

und stehlen^① ihn^② und sagen^③ zu^④ dem^⑤ Volk^⑥:

ʊnt ʃte:lən i:n ʊnt za:gən tsu: de'm fɔ'lk

(and) 盗む 彼を (and) 言う 向かって 民衆に

①他動詞三人称複数 (接続法 I 現在) ②人称代名詞三人称単数 4 格 ③自動詞 (接続法 I 現在) ④ 3 格支配の前置詞 ⑤定冠詞中性単数 3 格 ⑥中性名詞単数 3 格

注) 倒置法の文型で本来は (auf daß nicht seine Jünger) ihn stehlen und zu dem Volk sagen:

Er ist^① auferstanden^② von^③ den^④ Toten^⑤,

e:r i'st a'ufɛrʃta'ndən fɔ'n de'n to:tən

彼は よみがえった から 死者達

①自動詞三人称単数現在 (過去分詞とともに現在完了形を作る) ②分離自動詞 auf-erstehen の過去分詞

③ 3 格支配の前置詞 ④定冠詞女性複数 3 格 ⑤形容詞 tot (死んだ) の名詞形 Tote の複数 3 格

und werde^① der^② letzte^③ Betrug^④ ärger^⑤ denn^⑥ der erste^⑦!

ʊnt ve:rdə de'r lɛ'tstə bətru:k ɛ'rgər de'nn de'r ɛ':rstə

(and) なる 最後の 欺瞞が よりひどく より 最初の (欺瞞)

①自動詞三人称単数 (接続法 I 現在) ②定冠詞男性単数 1 格 ③形容詞の単数 1 格 ④男性名詞単数 1 格 ⑤

形容詞 arg の比較級 ⑥接続詞 (古形: 通常は als を使う) ⑦形容詞 (次の Betrug を省略)

<参考> 新約聖書新共同訳：マタイによる福音書第27章第59節—第66節

[66a] ヨセフはイエスの遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、岩に掘った自分の新しい墓の中に納め、墓の入り口には大きな石を転がしておいて立ち去った。マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。明くる日、すなわち、準備の日の翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところに集まって、こう言った。

[66b] 「閣下、人を惑わすあの者がまだ生きていたとき、『自分は三日後に復活する』と言っていたのを、わたしたちは思い出しました。ですから、三日目まで墓を見張るように命令してください。そうでないと、弟子たちが来て死体を盗み出し、『イエスは死者の中から復活した』などと民衆に言いふらすかもしれません。そうなると、人々は前よりもひどく惑わされることになります。」

[66c] ピラトは言った。「あなたたちには、番兵がいるはずだ。行って、しっかりと見張らせるがよい。」そこで、彼らは行って墓の石に封印をし、番兵をおいた。

Nr. 67 Recitativo 第67曲 レチタティーヴォ (BTAS) 合唱 I I

(Basso バス・ソロ)

Nun ist der Herr zur Ruh gebracht.

今や 主は 安息に もたらされた (現在完了形)

(Chorus II 合唱 I I)

Mein^① Jesu^②, gute^③ Nacht^④!

ma' in je':zu gu':tə na' xt

私の イエスよ 良い 夜を (おやすみ・さようなら)

①所有代名詞一人称男性単数1格 ②Jesusの呼格 ③形容詞の女性単数1格 ④女性名詞単数1格

参考：Guten Morgen (おはよう) Guten Tag (こんにちは) Guten Abend (こんばんは)

(Tenore テノール・ソロ)

Die Müh ist aus, die unsre Sünden ihm gemacht.

苦勞は 終わった (苦勞) 私達の 罪が 彼 (イエス) に 与えた

(Chorus II 合唱 I I)

Mein^① Jesu^②, gute^③ Nacht^④!

ma' in je':zu gu':tə na' xt

私の イエスよ 良い 夜を (おやすみ・さようなら)

(Alto アルト・ソロ)

O selige Gebeine, seht, wie ich euch mit Buß und Reu beweine,

おお 聖なる遺骸よ 見よ いかにも 私が御身に 懺悔と後悔をもって 嘆くかを

daß euch mein Fall in solche Not gebracht!

(that) 御身に 私のことで このような苦しみを 与えてしまった

(Chorus II 合唱 I I)

Mein^① Jesu^②, gute^③ Nacht^④!

ma' in je' :zu gu' :tə na' xt

私の イエスよ 良い 夜を (おやすみ・さようなら)

(Soprano ソプラノ・ソロ)

Habt lebenslang vor euer Leiden tausend Dank,

持て 一生に亘り 御身の受難に 幾千の 感謝を

daß ihr mein Seelenheil so wert geacht!

(that) 御身が 私の魂の救済に かくも重きを 置いてくれた

(Chorus II 合唱 I I)

Mein^① Jesu^②, gute^③ Nacht^④!

ma' in je' :zu gu' :tə na' xt

私の イエスよ 良い 夜を (おやすみ・さようなら)

(注) アルト・ソプラノのソロに出てくる euch (人称代名詞二人称親称複数3格) euer (所有代名詞二人称親称複数3格) ihr (人称代名詞二人称親称複数1格) は直接的には Gebeine (遺骸・四肢) を指している (間接的には勿論イエス自身を指す) 第68曲の ihr euer も同じく Glieder (四肢) を指している

(概訳)

(バス・ソロ) 今こそ主は安息に就かれた

(合唱) 私のイエスよ おやすみなさい

(テノール・ソロ) 私達の多数の罪が彼に与えた労苦はすべて終わった

(合唱) 私のイエスよ おやすみなさい

(アルト・ソロ) おお 聖なる遺骸よ 見てください どんなに私が御身に後悔して嘆いているかを 御身に私のことでこのような苦しみを与えてしまったことを

(合唱) 私のイエスよ おやすみなさい

(ソプラノ・ソロ) 生きている限り御身の受難に幾千もの感謝の思いを捧げます

御身が私の魂の救済にそれほどまでに思ってくださいましたことに

(合唱) 私のイエスよ おやすみなさい

68. Chorus I/II 第68曲 合唱I, II

Wir^① setzen^② uns^③ mit^④ Tränen^⑤ nieder^⑥

vi':r zε'tsən u'ns mi't trε':nən ni':dər
私達は 座る とともに 涙 低く・下へ

①人称代名詞一人称複数1格 ②③他動詞 setzen「座らせる」の再帰動詞 sich setzen「座る」複数現在
③人称代名詞一人称複数 wir の4格で再帰動詞の sich にあたる ④3格支配の前置詞(=with) ⑤女性名
詞複数3格 ⑥副詞または分離動詞の前綴り sich nieder-setzen「ひざまづく」

und rufen^① dir^② im^③ Grabe^④ zu^⑤:

u'nt ru':fən di':r i'm gra':bə tsu':
(=and) 呼ぶ・叫ぶ あなたに 中に 墓の (に向かって)

①⑤他動詞(分離動詞 zu-rufen)複数現在 ②人称代名詞二人称親称単数 du の3格 ③前置詞 in+定冠
詞中性単数3格 dem の短縮形 in dem → im ④中性名詞単数3格(口調上 e をつけたもの)

Ruhe^① sanfte^②, sanfte ruh^③!

ru':ə za'nftə za'nftə ru':
おやすみなさい 安らかに 安らかに おやすみなさい

①自動詞 ruhen の二人称単数(イエスに対する)命令形 ②形容詞(副詞的使用) sanft に口調上 e をつ
けたもの ③自動詞 ruhen の二人称単数命令形 ruhe の短縮形(命令形 ruhe sanfte の倒置形)

Ruht^①, ihr^② ausgesogenen^③ Glieder^④!

ru':t i':r a'usgəzo':gnən gli':dər
おやすみなさい お前達 吸い出された・絞り取られた 四肢・手足よ

①自動詞 ruhen の二人称複数(Glieder に対する)命令形 ruhet の短縮形 ②人称代名詞二人称親称複数
1格(呼びかけ) ③他動詞(分離動詞 aus-saugen の過去分詞 ausgesogenen)短縮形で形容詞的用法 ④中性
名詞 Glied の複数1格

Ruht^① sanfte, ruhet wohl^②!

ru':ət za'nftə ru':ət vo':l
おやすみなさい 安らかに おやすみなさい 心地よく・十分に

①自動詞 ruhen の二人称複数(Glieder に対する)命令形 ②副詞(=well)

Euer^① Grab^② und Leichenstein^③

u'yər gra':p u'nt la'ičənʃta'in
お前達の 墓 (=and) 墓石・墓碑は

①所有代名詞二人称親称複数1格(Glieder を受ける) ②中性名詞単数1格 ③男性名詞(複合語 Leiche
〔死体〕+ Stein〔石〕)単数1格 最初の euer は Grab と Leichenstein の両方に掛かる

soll^① dem^② ängstlichen^③ Gewissen^④

zɔ' ll də' m ɛ' ŋstliçən gəvi' ssən
であろう 不安・心細げな 良心には

①助動詞単数 (Grab と Leichenstein をまとめて単数扱いにしている) 現在 (= shall) ②定冠詞中性単数 3格 ③形容詞中性 3格 ④中性名詞単数 3格

ein^① bequemes^② Ruhe^③kissen^③

a' in bəkvə' :məs ru' :əki' ssən
ひとつの 快適な 憩いの枕

①不定冠詞中性 1格 ②形容詞中性 1格 ③中性名詞 (複合語 Ruhe (休息) + Kissen (枕)) 単数 1格

und der^① Seelen^② Ruhstatt^③ sein^④.

ʊ' nt de' r ze' :lən ru' :ʃ tat za' in
(and) 魂の 憩いの場所 である

①定冠詞女性複数 2格 ②女性名詞複数 2格で次の Ruhstatt にかかる ③女性名詞単数 1格 (Ruhstatt の短縮形で無冠詞) ④自動詞 (= be) の不定形

Ruhet sanfte, sanfte ruht !
ru' :ət za' nftə za' nftə ru' :t
おやすみなさい 安らかに 安らかに おやすみなさい

Höchst^① vergnügt^② schlummern^③ da^④ die^⑤ Augen^⑥ ein^⑦.

hø' çst fɛrgny' :kt ʃ lʊ' mmərn da' : di' : a' ugən a' in
最高に 満足して 微睡 (まどろ) む そのとき 目 (複数) は (入る)

①形容詞 hoch (= high) の最高級 ②動詞 vergnügen の過去分詞 (副詞的用法) ③⑦自動詞 (分離動詞 ein-schlummern) の複数現在 ④副詞 ⑤定冠詞複数 1格 ⑥女性名詞 Auge の複数 1格

(概訳)

私達は涙ながらにひざまずき お墓の中のあなたに対し呼び掛けます

お休みください 安らかに 安らかに お休みください

(I) お休み 御身 疲れ果てた四肢よ

(II) お休み 安らかに お休み 十分に

(I) 御身のお墓と墓石は 不安な心には心地よい安らぎの枕

そして魂には安息所となるに違いない

(II) お休み 安らかに 安らかに お休み

(I) この上なく満ち足りてそのとき両の眼はまどろみに落ち入る

(歌詞はピカンダーの自由詩 1725)

(2016年7月 (2017年6月一部訂正) ハルモニーコール 山田 武 作成)